

◆研修会特集◆ 2. 事例報告

Nacsis-ILL を活用した文献相互利用について

羽田 智和子

当院では、相互貸借を直接 FAX で依頼する他に国立情報学研究所目録所在サービスによる Nacsis-ILL による依頼、文献複写代行業者への依頼と三つの手段があります。なかでも、Nacsis-ILL とそれに伴う複写料金の相殺サービスが有効だったので紹介します。Nacsis-ILL とは、サービスに参加している大学図書館やその他の機関と Web を通して依頼、受付するシステムです。また、複写料金の相殺サービスとは参加している機関内で、依頼された総額と依頼した総額の差額を多ければ支払われ、少なければ国立情報学研究所に支払うシステムです。

参加のメリットは、

1. 簡単に申請できる：いくつかの条件はありますが、病院図書室であっても申請が可能です。
2. 初期費用がない：相殺サービスを利用する場合は運営費がかかりますが、Nacsis-ILL 参加自体は無料です。
3. 申込みできる図書館が増える：Nacsis-ILL に参加し相互貸借を許可している機関が依頼対象になるため、申込みできる機関が増えます。

4. 謝絶後の手間が減る：Nacsis-ILL では申込館を複数選択でき謝絶されても、次の館に自動的に申込みされるため、何度も申込みする必要がなくなります。
5. 問い合わせが簡単：Nacsis-ILL は Web を介してのやり取りのため、問い合わせもシステム上ですることができます。
6. 現物貸借が可能：所蔵があり現物貸借を許可している機関であれば、現物をお借りすることが可能です。
7. 振込み作業が減る：相殺制度に加入すれば自動的に相殺計算がされるため、四半期に一度の支払いで済みます。

参加のデメリットは、

1. 所蔵登録：参加するには自館の所蔵データを Nacsis-ILL に登録する必要があります。
2. 院内調整の必要：相殺制度は支払いが生じる場合があるので、関係部署への説明が必要になります。
3. 依頼が増える：参加機関からの依頼も増えますが、Nacsis-ILL 登録すると CiNii に所蔵が反映されるため、参加外の施設からの依頼も増えました。

登録に多少の手間と、相殺制度に運営費がかかりますが、入手できる文献が増えることは利用者へのサービスの向上につながると考えます。

HADA Chikako

石巻赤十字病院 教育研修センター

TEL : 0225-21-7220 FAX : 0225-96-0122

tosho@ishinomaki.jrc.or.jp